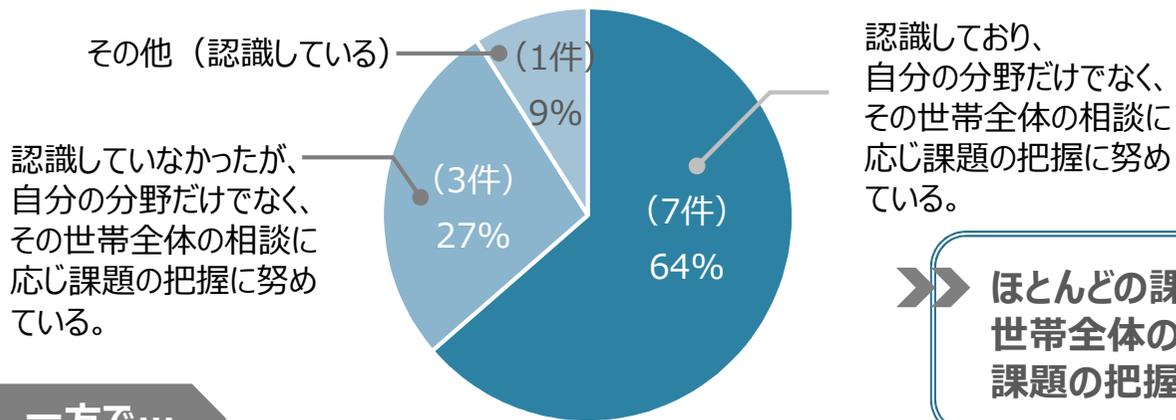


Q.包括的相談支援事業の実施体制として、各課が包括的な相談窓口として位置づけられているという認識がありますか。



ほとんどの課において、世帯全体の相談に応じ課題の把握に努めている！

各課で取り入れられるものは共有していきたい…！

どのような手法で把握しているか

+

その手法は係全体で行えているか



包括的な相談支援に対する各職員の意識の醸成や対応の標準化が必要



包括的相談支援を推進していくためにはどのような取り組みが必要か

Q.包括的な相談窓口として窓口対応するにあたり課題として感じていることはありますか。

- ✓ 自分の部署の担当内容しか把握していない。
- ✓ 自分の部署のできることだけ聞き取り「それ以上はできません」「それは〇〇課に行って相談してください」と対応すると包括的な相談でもないし連携もできない。
- ✓ 自分の分野以外の相談内容を聞き、関係部署に丁寧につなぐ姿勢が足りない。
- ✓ 包括的な目線で対応している職員が増えている一方、縦割り式で対応する職員がいる。
- ✓ どの職員が対応しても最低限必要な案内ができるよう、部署内で対応を標準化することが必要。

(令和7年度「チームかつしかを作る～福祉を超えたつながり～研修受講者アンケートより)  
Q.連携がうまくいかないと感じるのはどのようなときですか。(複数回答可)



アンケート回答者の半数が選択…！